

学校だより

四
中
の
風

令和5年度
第1号
R5. 4. 14
文責：校長
安達正治

学校だより「四中の風」は、本年度も安達が発行します。
「四中の風」で、学校の様子や生徒の頑張り、保護者や地域のみな
さんへのお願いなどをお知らせしたいと思います。引き続き学校と保
護者や地域の皆さんとの「かけ橋」になれるよう頑張ります。

『二十六名の教職員が転入しました』

く転入教職員紹介く

この春の人事異動で二十五名の教職員が離任し、新たに二十六名
の教職員が転入しました。非常勤講師も含めると昨年度より人数が増
え、総勢七十名となりました。よろしくお願い致します。

主幹教諭	諏訪部 淳（保体） 県教育庁保健体育課から
教諭	岩田 靖（初任研担当） 大庭小から
教諭	増田 史朗（理科） 八束学園から
教諭	糸原 淳（理科） 鹿島中から
教諭	山崎美紀子（サポートルーム） 松江三中から
教諭	小笹 基（社会） 玉湯学園から
教諭	内田 和男（英語） 安来二中から
教諭	永瀬 俊雄（技術） 大東中から
教諭	増田友美子（数学） 東出雲中から
教諭	山本 朋子（国語） 穴道中大野原分校から
教諭	吉田 真生（保体） 松江一中から
教諭	田中 真愛（保体） 新規採用
教諭	佐藤 惟斗（社会） 新規採用
教諭	山崎佐和子（美術） 新規採用
講師	奥村めぐみ（四葉学級） 本庄中から
講師	小松 睦矢（四葉学級） 新規採用
養護教諭	加藤 尚子 湖東中から
養護助教諭	谷里 真理 向陽中から
非常勤講師	井上 典子 美保関小から



生徒支援・事務部			
職	氏 名	職	氏 名
校 長	安達 正治	事務 リーダー	宇都宮弥生
教 頭	三島 淳	主 事	牧野 敦子
主幹教諭	諏訪部 淳	PTA 囑託	田中 郁子
県中体連 理事長	加地 真	SSS	梅山賀依子
ALT	カーラ	校務 支援員	壺井 幸二
ALT	ナディーン	学校 司書	牛尾恵利子
SSW	長廻 芳行	校務 技師	野津 幸穂
		地域学校 協働活動 推進員	佐名木明美

3 年 部（6クラス）		
主任：増田 史朗 副主任：池田裕美子		
組	担 任	副担任
1 組	吉田 真生	池田裕美子
2 組	須山 正枝	小笹 基
3 組	山本 朋子	増田 史朗
4 組	伊藤 梓	増田 史朗
5 組	奈良井 舜	廣江 圭子
6 組	荒尾 徹志	富田 沙織

特別支援教育部 （4クラス）			
主任：山崎美紀子（サポートルーム） 通級担当：土谷 徹、中田華名子 支援員等：松本和彦、藤原君子 田中寛子、奥野美幸、齋藤幸子 今岡千春			
組	担 任	組	担 任
1 組	森脇 彩夏	2 組	小松 睦矢
3 組	金築 亨	4 組	奥村めぐみ
5 組	和田 健佑		

1 年 部（6クラス）		
主任：植田 学 副主任：糸原 淳 養護助教諭：谷里 真理		
組	担 任	副担任
1 組	岩崎 香織	植田 学 糸原 淳 近藤 祐子 足立 真理 谷里 眞理
2 組	金坂 優衣	
3 組	吉田 常海	
4 組	永井 雄	
5 組	田中 真愛	
6 組	寺谷 華	

2 年 部（6クラス）		
主任：内田 和男 副主任：高橋 伸之 養護助教諭：加藤 尚子		
組	担 任	副担任
1 組	増田友美子	高橋 伸之
2 組	山本 諒	永瀬 俊雄
3 組	伊藤 元伽	高橋 伸之
4 組	佐藤 惟斗	内田 和男
5 組	細木 千裕	内田 和男
6 組	坂野 悠	山崎佐和子

クラスサポーターティーチャー（一年生）
泉 佳子 松江二中から 足立みどり 松江一中から
鷗 泉 湖南中から
特別支援にここにサポート（特別支援学級）
田中 寛子 湖南中から 奥野 美幸 湖南中から
スクールソーシャルワーカー
長廻 芳行
緊急校務支援員
壺井 幸二 穴道中から



『今年度の学年部組織・部活動担当者を紹介します』

部活動顧問（ ）は外部コーチ

☆文化部	担当者名	★運動部	担当者名
吹奏楽部	細木、中田	野球部	山本諒、小笹
合唱部	荒尾、伊藤梓	サッカー部	吉田真、坂野（福島）
美術部	金築、山崎佐	男子ソフトテニス部	奈良井、小松
科学部	永瀬、伊藤梓	女子ソフトテニス部	金坂、糸原、岩崎
ハンドメイド部	池田、山崎佐	男子バスケットボール部	和田、高橋
書道部	廣江、伊藤梓	女子バスケットボール部	吉田常、森脇
		男子バレーボール部	植田、増田史
		女子バレーボール部	奥村、足立祐、岩崎
		柔道部	土谷、田中真
		剣道部	増田友、佐藤
		男子卓球部	近藤、内田（竹田）
		女子卓球部	近藤、須山
		陸上部	永井、伊藤元、寺谷、加地
		社会体育（水泳、バドミントン等）	山本朋、山崎美、富田



『学校教育目標について』

今年度の学校教育目標は、昨年度までに引き続き、「生きる力を育
成する」です。「生きる力」の中身は「学力」「社会力」「人間力」の
三つの力に整理して共通理解することになっています。また、昨年十一
月に津田古志原夢きぼう学園の学園教育推進会議を行い、地域の方、
生徒代表、教職員代表がグループ別に「四中生として身に付けたい力」
を話し合いました。その結果から「四中生に身に付けて欲しい力」を
設定しました。以下、簡単に説明します。

○「学力」：「自ら課題や展望を見出し、粘り強く挑戦し学ぶ生徒」
一般的に五教科を中心に授業で培うイメージが強く、成果指標とし
ては学力調査結果が代表的なものです。全教科で指導改善のための教
員研修を計画的に実施して参ります。特に生徒による授業評価を昨年
に引き続き導入していきたいと考えています。また、電子黒板やタブ
レット端末の活用を進めていきたいと思っています。

○「社会力」：「人との関わりやつながり大切に、

よのよい学習集団を創造する生徒」

日常生活や授業はもちろん、学校行事、生徒会活動、部活動等を通

して育んでいきます。成果指標が設定しづらい分野ですが、問題行動の発生件数や地域からいただく苦情やお褒めの数等が目安になると考えています。

○「人間力」：「自然や文化を愛し、

自他を共に大切にする優しく強い生徒」

日常生活や授業、学校行事や生徒会活動、部活動等を通して育んでいきます。成果指標としていじめの認知件数や保健室で把握する体調不良者数、年度末に公表されるスポーツテスト結果等が指標になると考えています。

○「四中生に身に付けて欲しい力」

『良い習慣を身に付けよう つながる力 と 挑戦する力』

学園教育推進会議では、六十人の参加者が八班に分かれてグループごとに話し合いました。あいさつ、マナーや礼儀、受け止める、発信する力、協力する、積極性、継続する力、等々、様々な意見が出ましたが、それらをまとめ整理したものです。生徒達には始業式や入学式の場で伝え、自分にできること、できそうなことから取り組み、良い習慣を身に付けるよう呼びかけています。

『令和五年度 入学式を行いました。』



去る四月十一日（火）に今年度の入学式を行い、207名の一年生が入学、今年度の全校生徒数は653名になりました。入学式は新入生と保護者の皆様、八名の来賓、三年生、吹奏楽部、教職員で行いました。また、駐車場整理や式場を飾る花のプランター等、地域ボランティアの方に大変お世話になりました。ありがとうございました。併せて、入学式での新入生代表の誓いの言葉を紹介します。

新入生代表誓いの言葉

僕たちは、家族や地域の方々に見守られながら、今日、この松江市立第四中学校に入学します。

僕は、中学生になると新しいことができるようになると思い、楽しみにしています。ですが、これからは小学生の時よりも勉強の内容が難しくなり、今までなかった定期テストもあるので、不安も感じています。そのため、周りの先輩方を見習い、友だちと切磋琢磨して、がんばっていききたいと思います。

これからの中学校生活、新たな仲間とともに協力し、思いやりの気持ちを忘れず精一杯努力していきます。先生方、先輩方、ご指導よろしくお願いいたします。

僕たち新入生は、松江市立第四中学校の生徒としての自覚をもち、夢に向かって成長していくことを誓います。

令和五年四月十一日

新入生代表 吉井達哉

『生徒会入会式・部活動オリエンテーションを

行いました。』



四月十二日（水）に生徒会二十六役生徒の企画・運営で、生徒会入

会式と部活動オリエンテーションを行いました。入会式では生徒会長から「全校生徒が生徒会会員であること」、「生徒会はより良い学校生活を送れるようにするためのもの」と伝えるなど、生徒会活動の目的や組織、具体的な活動内容を新入生に伝えました。部活動オリエンテーションではどの部活動もたくさんの方々の新入生を部員に迎えるため、限られた時間の中で工夫を凝らした部活動紹介を行いました。全校生徒が体育館に集まって行った集会活動は活気があって、四中生のエネルギーの大きさを感じる時間となりました。

【お知らせとお願い】

○相談室の呼び方をサポートルームに変更しました。

昨年度まで、様々な理由から教室に入りづらい生徒の自学の場や教室復帰をめざす場、カウンセリングの場などとして活用していた相談室の名称を本年度より「サポートルーム」に変更しました。名称は変更になりますが、これまで果たしてきた機能を維持充実させていきたいと考えております。担当者は山崎美紀子教諭で、特別支援教育コーディネーターを兼ねております。ご相談になりたいこと等ありましたら、学校までお気軽にご連絡ください。

○県中体連主催大会への参加について

昨年度、島根県中学校体育連盟より文書でお知らせしておりましたが、今年度から松江市総体、出雲地区大会に代わり、ブロック大会を行うことになりました。また、中体連大会に地域スポーツ団体等が特別で参加することになり、島根県内の十八団体が認定され松江市内で活動する団体が含まれています。このため、競技種目によっては、四中の選手として中体連大会に参加する場合と、地域スポーツ団体等の選手として参加する場合に分かれることが想定され、学校として把握する必要があります。今年度の部活動加入・継続届と一緒に、中体連大会の参加の仕方をお尋ねする文書を配付しておりますので、ご確認ください。なお、令和五年度松江市中体連では秋の新人戦を実施する予定です。

○ホームページを更新しています。

今年度も昨年度までと同様にホームページを活用した情報発信を行っています。主なコンテンツは、その日の主な出来事や授業の様子などを紹介する「四中日記」、その日の給食メニューを紹介する

「今日の給食」です。担当者が安達から諏訪部主幹教

諭に代わりました。昨年度とはひと味違うホームページをぜひご覧ください。



HPのQRコード